

事業条件調書

事業名: 令和8年度須賀川地区森林環境保全整備事業(保育間伐活用型)

塩那森林管理署

物件 番号 (単位)	林小班	伐採種	伐採率 %	実行 面積 ha	樹種	林齢 年生	立木(資材)					生産量(素材)		作業条件								備考		
							本数 本	材積 m ³	平均 胸高 cm	平均 樹高 m	平均単木 材積 m ³	生産量 m ³	適用 利用率 (歩止り)	事業地			伐倒 方法	集材方法		山元			最終 m ³	合計 m ³
														林地 傾斜 度	下層 植生	通勤距 離 車・片道 km		集材方法	平均 集運材 距離 m	一般材等 m ³	低質材N m ³			
1	27は	間伐	34%	0.67	スギ	38	340	196	24	22	0.58	170	87%	37	中	9.8	列状	フォワーダ	230	70	70	30	170	保育間伐活用型
	27は	間伐	34%	1.55	ヒノキ	38	1,204	344	20	17	0.29	310	90%	37	中	9.8	列状	フォワーダ	230	135	120	55	310	保育間伐活用型
	27ほ1	間伐	34%	4.42	スギ	39	2,218	1,293	24	22	0.58	1,170	90%	32	中	9.8	列状	フォワーダ	230	500	470	200	1,170	保育間伐活用型
	27ほ1	間伐	34%	5.87	ヒノキ	39	4,552	1,303	20	17	0.29	1,170	90%	32	中	9.8	列状	フォワーダ	230	390	470	310	1,170	保育間伐活用型
	27ほ2	間伐	34%	1.22	スギ	40	618	357	24	22	0.58	320	90%	32	中	9.5	列状	フォワーダ	119	140	130	50	320	保育間伐活用型
	27ほ2	間伐	34%	1.84	ヒノキ	40	1,426	408	20	17	0.29	370	91%	32	中	9.5	列状	フォワーダ	119	160	150	60	370	保育間伐活用型
	27の1	間伐	31%	4.03	スギ	32	2,120	998	22	20	0.47	900	90%	30	中	8.2	列状	フォワーダ	268	390	360	150	900	保育間伐活用型
	27の1	間伐	31%	1.72	ヒノキ	32	1,130	300	20	15	0.27	270	90%	30	中	8.2	列状	フォワーダ	268	115	110	45	270	保育間伐活用型
	27の3	間伐	31%	3.30	ヒノキ	31	1,982	415	18	16	0.21	330	79%	35	中	8.2	列状	フォワーダ	167	150	130	50	330	保育間伐活用型
	27や1	間伐	31%	4.97	スギ	31	2,606	1,231	22	20	0.47	1,100	89%	24	中	8.6	列状	フォワーダ	164	365	435	300	1,100	保育間伐活用型
	27や1	間伐	31%	7.14	ヒノキ	31	4,640	1,244	20	15	0.27	1,120	90%	24	中	8.6	列状	フォワーダ	200	390	450	280	1,120	保育間伐活用型
	27ま2	間伐	34%	0.04	スギ	36	20	12	24	22	0.59	10	85%	21	中	8.6	列状	フォワーダ	164	5	5		10	保育間伐活用型
	27ふ	間伐	31%	6.94	スギ	29	3,652	1,719	22	20	0.47	1,600	93%	25	中	8.6	列状	フォワーダ	267	680	640	280	1,600	保育間伐活用型
	27ふ	間伐	31%	3.12	ヒノキ	29	2,028	544	20	15	0.27	490	90%	25	中	8.6	列状	フォワーダ	267	210	200	80	490	保育間伐活用型
	27さ	間伐	34%	0.95	スギ	40	480	278	24	22	0.58	250	90%	28	中	9.7	列状	フォワーダ	127	110	100	40	250	保育間伐活用型
	27さ	間伐	34%	2.10	ヒノキ	40	1,633	466	20	17	0.29	420	90%	28	中	9.7	列状	フォワーダ	127	170	180	70	420	保育間伐活用型
合計				49.88			30,649	11,110				10,000							3,980	4,020	2,000	10,000		

※1 立木材積については小数点以下を表示していないので、合計が一致しない場合がある。

※2 予定価格算出基礎の一部を示すものであり、技術提案の内容によっては、本条件調書と合わない場合がある。

※3 本条件調書の内容と現地が一致しない場合は現地を優先する。